

誠愛院内勉強会

日時：2012年2月21日（火）

担当：リハビリテーション部

回復期から在宅にソフトランディングさせるためには、回復期病棟でおこなわれたリハビリテーションが有効であったかを知る必要があります。そのためには、退院後の在宅生活を十分知る必要があると考え、リハビリテーション部では、数年前より入院担当セラピストが、訪問看護ステーション誠愛より訪問でのリハを担当させていただき、実際の生活を評価し、さらに継続してリハを行ってきました。同時に、研究として、退院後の生活を電話により聞き取り、FIMの変化としてまとめてきました。それらの結果をここ数年にわたり回復期リハ病連絡協議会研究大会で発表しました。今年はこれに加え、当院での退院前訪問指導実施について分析した結果も発表しました。これらの発表に対し他院での取り組みや、会場でディスカッションした内容をまとめて報告することを目的に、勉強会を担当させていただきました。

文責：リハビリテーション部

渕 雅子